

次号予告

特集 モビリティイノベーションの社会応用—Society5.0実現にむけて—

交通管制による災害避難の効率化シミュレーション

..... 鈴木 勉・長谷川大輔 (筑波大学), 若林建吾 (ジャパニクス(株))
ラストマイル・モビリティシェアリング最適化モデルによる運用分析

..... 山田匡規 (筑波大学), 木村雅志 (NTTデータ), 高橋直希・吉瀬章子 (筑波大学)
近・現代の農村地域における拠点集落と拠点間交通—次城県石岡市八郷地域を事例として—

..... 藤川昌樹・山本幸子・仲村 健 (筑波大学)
気候変動に資する都市構造と自動車新技術を考える

..... 谷口守 (筑波大学), 香月秀仁 ((独)都市再生機構), 小嶋和法・東 達志 (筑波大学)
モビリティイノベーションとマーケットデザイン..... 栗野盛光・高原 勇・大澤義明 (筑波大学)

メーリングリストに登録しよう

会員の方は、本学会のメーリングリストに登録すると、学会ならびに各研究部会の主催する研究発表会・セミナー等の催し物に関する最新情報が得られます。登録方法については、<http://www.orjs.or.jp/members/mlhowto.html>をご覧ください。

編集後記

●暗号を研究している知り合いの研究者に、量子コンピューターの素朴な原理を教えてもらったのは、私がちょうど就職したての2000年前半でした。最初はその話を聞いて、そんなものが本当に実現するのか、甚だ懐疑的でした。

●ところが、最近の報告を整理すると、狭い意味であればすでに実現ができており、そればかりか「非常に用途を限定すれば、現在のコンピューターより性能が出る」というところには、手が届きつつある状況のように思えます。

●最後の紹介記事で、「現在の量子プログラミング環境は、まるで古典コンピューターの黎明期にプログラムをアセンブラで書いていた頃のようなようである」という例えが

されていますが、この例えのとおりに進めば、現在中堅で働いている方がリタイアするまでの間に、量子コンピューター上のプログラミングが、道具のレベルになっている可能性は高いのではないのでしょうか。

●他方、ビル・ゲイツ氏が昨年、「量子コンピューターは理解できない」と述べたことは有名な話です。量子コンピューターに関して、表層的以上の内容を理解しようとした場合、それなりの数理的素養が必要であり、加えてある程度踏み込んだ解説が必要な事は言うまでもありません。現状、入門的な内容と専門的な内容の中間を日本語でフォローしている文献は多くはなく、今回の紹介記事はその層をうまくカバーできていると思います。

(原田耕平)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 猿渡 康文 (筑波大学)

特集担当編集委員 井床 利生 (IBM基礎研究所)

委員 朝日 弓未 (東海大学), 池辺 淑子 (東京理科大学), 石井 儀光 (国立研究開発法人建築研究所), 井床 利生 (IBM基礎研究所), 鶴飼 孝盛 (防衛大学校), 加藤 怜 (公益財団法人鉄道総合技術研究所), 木村 達明 (日本電信電話株式会社), 小林 隆史 (立正大学), 佐久間 大 (防衛大学校), 笹谷 俊徳 (東京ガス株式会社), 繁野 麻衣子 (筑波大学), 高野 祐一 (筑波大学), 中原 孝信 (専修大学), 生田目 崇 (中央大学), 蓮池 隆 (早稲田大学), 原田 耕平 (株式会社NTTデータ数理システム), 吉田 琢史 (株式会社東芝)

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成30年6月号 第63巻 第6号 通巻690号

代表者 齊藤 裕

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032

<http://www.osrj.or.jp/>

編集人 猿渡 康文

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 〒151-0051

・本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。

・本誌への広告のお申込みは、明報社 (Tel 03-3546-1337) へ。